

### 学習活動 1: 自分の名前からハングルへ

韓国語のクラスのクラスメイトと親しくなるために、ハングルで自分の名刺を作って交換し、簡単な自己紹介の挨拶をする。ハングルの文字を自分の力で解読し、ハングルの法則を類推する。

時間数: 1時間

活動の流れ

Step1 学習者全員のローマ字の名前シートとハングルの名前シートを、それぞれ1枚ずつバラバラにして黒板に貼っておく。

Step2 板書事項「黒板にみなさんのローマ字の名前シートとハングルの名前シートがそれぞれ貼ってありますので、自分のものだと思うシートをひとつずつ取ってください。できた人は、どこでもよいので席に座り、早いもの順に4人グループをつくって待っていてください。」

Step3 教師は座っている生徒のローマ字とハングルを確認し、違うハングルを取っている生徒には「違うよ」と教えて黒板に戻す。

Step4 生徒が4人グループになっているところにはハングルローマ字対応表(ワークシート)を配り、穴埋め作業をさせる。

※ここでは、日本語の名前をハングルで表記することを意図して、日本語の5つの母音(a, i, u, e, o)だけを提示した表になっている。

ハングルローマ字対応表(ワークシート)

	a	i	u	e	o	自分の名前
g						ハングル ( )
n						ローマ字 ( )
d						メンバーの名前
r/l						ハングル ( )
m						ローマ字 ( )
b						ハングル ( )
s						ローマ字 ( )
-						ハングル ( )
j						ローマ字 ( )
ㄷ						ハングル ( )
ㄱ						ローマ字 ( )
ㄷ		-	-			ハングル ( )
ㅌㅍ	-	-		-	-	ローマ字 ( )
ㅍ						ハングル ( )
ㅎ						ローマ字 ( )
y		-		-		ハングル ( )
w		-	-	-	-	ローマ字 ( )

①自分の名前のハングルとローマ字をワークシートに書き写す。

	a	i	u	e	o	自分の名前
g						ハングル (사사키 하루 )
n						ローマ字 (SASAKI, Haru )
d						メンバーの名前
r/l						ハングル ( )
m						ローマ字 ( )
b						ハングル ( )
s						ローマ字 ( )
-						ハングル ( )
j						ローマ字 ( )
ㄷ						ハングル ( )
ㄱ						ローマ字 ( )
ㄷ		-	-			ハングル ( )
ㅌ	-	-		-	-	ローマ字 ( )
ㅍ						ハングル ( )
ㅎ						ローマ字 ( )
y		-		-		ハングル ( )
w		-	-	-	-	ローマ字 ( )

②グループメンバーの名前のハングルとローマ字をワークシートに書き写す。

	a	i	u	e	o	自分の名前
g						ハングル (우에토 아야 )
n						ローマ字 (UETO, Aya )
d						メンバーの名前
r/l						ハングル (타나카 미키 )
m						ローマ字 (TANAKA, Miki )
b						ハングル (나카노 아키 )
s						ローマ字 (NAKANO, Aki )
-						ハングル (사이토 나쓰 )
j						ローマ字 (SAITO, Natsu )
㉠						ハングル (사사키 하루 )
㉡						ローマ字 (SASAKI, Haru )
㉢		-	-			ハングル ( )
ts	-	-		-	-	ローマ字 ( )
㉣						ハングル ( )
㉤						ローマ字 ( )
y		-		-		ハングル ( )
w		-	-	-	-	ローマ字 ( )

③自分とグループメンバーのハングルの、ワークシートの対応する欄に記入する。

	a	i	u	e	o	自分の名前
g		이				ハングル (우에토 아야 )
n	나				노	ローマ字 (UETO, Aya )
d						メンバーの名前
r/l			루			ハングル (타나카 미키 )
m		미				ローマ字 (TANAKA, Miki )
b						ハングル (나카노 아키 )
s	사					ローマ字 (NAKANO, Aki )
-	아		우			ハングル (사이토 나쓰 )
j						ローマ字 (SAITO, Natsu )
㉠						ハングル (사사키 하루 )
㉡	카	키				ローマ字 (SASAKI, Haru )
㉢	타	-	-		토	ハングル ( )
ts	-	-		-	-	ローマ字 ( )
㉣						ハングル ( )
㉤	하					ローマ字 ( )
y	야	-		-		ハングル ( )
w		-	-	-	-	ローマ字 ( )

④空欄を、法則を探しながら埋めていく

母音の列、子音の行に一か所でも記入があれば類推可能。

もし、列行にひとつも記入がない場合は

- ① 他のグループのメンバーに聞きに行く
- ② 教師が1, 2個程度記入するなどの方法がある。

⑤対応表からハングルで自分の名刺を作る。



⑥他のグループの生徒と自己紹介するために、必要な挨拶の表現を学習する。その後、自己紹介をしながら名刺交換をする。なお、制限時間を設けるなどして、活動の終了を明確にする。

挨拶の表現例

안녕하세요?(こんにちは)

저는 우에토 아야 입니다.(私は上戸彩です。)

반갑습니다.(あえてうれしいです。)

감사합니다.(ありがとうございます)

⑦受け取った名刺をもとに、友達リストをハングルとひらがなで作る。その際、教師の「開始(시작!)」の合図で始め、所要時間を競わせることで、形成的評価とすることができる。

## 友達リスト

- |           |        |
|-----------|--------|
| 1 たなか みき  | 타나카 미키 |
| 2 なかの あき  | 나카노 아키 |
| 3 さいとう なつ | 사이토 나쓰 |
| 4 ささき はる  | 사사키 하루 |
| 5         |        |
| 6         |        |
| 7         |        |
| 8         |        |
| 9         |        |
| 10        |        |
| 11        |        |

学習活動 2:フォニックスを用いて

時間数:1時間

活動の流れ

Step1)まず、ハングルの字母とそれに対応するローマ字のカードを見せ、フォニックスを用いて子音の音を確認し、必要に応じて字母の名称\*もあわせて提示する。

注:フォニックスとは、ここでは、ハングルの音(発音)の決まりのことを指す。ハングルの子音には、それぞれ呼び名がついていて、「ㄱ」は、「기역」(キヨツ)、「ㄷ」は、「디귿」(ティグツ)と呼ぶ。しかし、フォニックスで読むと「ㄱ」(グツ)、「ㄷ」(ドゥツ)というような音になり、これらの音が組み合わさって1つの文字や意味をもつ単語を発音することができるようになる。

例 1

ㄱ	/g/ /g/ /g/ /g/	*ㄱ	기역 /g/ /g/ /g/ /g/
		*	
		*	
		*	

\*字母の名称もあわせて提示する場合

……以下、「ハングルローマ字対応表」の順に、提示する。ただし、ハングルの法則発見を容易にするために、「ハングルローマ字対応表」のうち、「ㄱ」は/g/、「ㄷ」は/d/、「ㅂ」は/b/、「ㅅ」は/j/として提示する。

Step2) Step1 では「ㄱ」は/g/、「ㄷ」は/d/、「ㅂ」は/b/、「ㅅ」は/j/として提示したが、ここでは、語頭にあっては「ㄱ」は/k/、「ㄷ」は/t/、「ㅂ」は/p/、「ㅅ」

は/ch/ともなることを提示する(例:가구【kagu】)。以下のカードを見せ、フォニックスを用いて子音の音を確認し、必要に応じて字母の名称\*もあわせて提示する。

例 2

ㄱ	/g/ /g/ /g/ /g/	*ㄱ	기역 /g/ /g/ /g/ /g/
ㄷ	/d/ /d/ /t/ /t/	*ㄷ	디귿 /d/ /d/ /t/ /t/
ㅂ	/b/ /b/ /p/ /p/	*ㅂ	비음 /b/ /b/ /p/ /p/
ㅅ	/j/ /j/ /ch/ /ch/	*ㅅ	지읒 /j/ /j/ /ch/ /ch/

\*字母の名称もあわせて提示する場合

注:ハングルは、初声(子音)＋中声(母音)という構成のもの(例:마,다)のほか、初声(子音)＋中声(母音)＋終声(子音)という構成のもの(例:밭,닭)があるが、ㄱ、ㄷ、ㅂ、ㅅの音変化に対する理解を通じて、終声の音に関する説明を概ね代替することが可能となる。

Step3) Step1 において、ハングルローマ字対応表に基づいて、「ㄱ」は/k/、「ㄷ」は/t/、「ㅂ」は/p/、「ㅅ」は/ch/と対応していることを提示するが、ここで改めて取り上げ、それぞれ気を伴って(激しく)発音することを確認する。



### 学習活動 3: 日韓併記の地図を読む

お互いのことばができない韓国人と日本人の友人同士がいっしょに使える、ハングルとひらがな併記の地図を作る

Step1) 生徒がよく知っている地名・施設名が出ている韓国人向け案内図を用意する。

\* googlemap ほか地域の観光協会や国際交流協会  
等が発行する韓国語地図など。

<https://maps.google.co.jp/maps?hl=ko>

<http://www.mapfan.com/houjin/mlang/map/korean/>

Step2) 未習のハングルが含まれているものを選んで点線で囲み( ~ )、何と読むかを類推させ、地名・施設名リストをハングルとひらがなで作る。

例：横浜駅周辺





- |   |                |   |                |
|---|----------------|---|----------------|
| ㉠ | 요코하마 역         | ㉡ | 루미네 요코하마 백화점   |
| ㉢ | 기요켄 본정빌딩       | ㉣ | 요코하마 다카시마 야백화점 |
| ㉤ | 스카이 빌딩 마루이 백화점 | ㉥ | 비브레 쇼핑센터       |
| ㉦ | 오까다야 모아즈       |   |                |

Step3) あらかじめ用意したハングルのみで表記された案内図をもとに、お互いのことばを知らない韓国人と日本人の友人同士がいっしょに使えるように、ハングルとひらがなが併記されたオリジナル案内図を作成する。この際、横浜駅前地区担当班とみなとみらい関内地区担当班に分かれ、完成後相互に教え合うことも考えられる。

Step4) 地名施設名を表すハングルのうち、未習部分を色でなぞるなどして注目させ、音を確認する。この図内に現われる新出の字母は、ㄱ, 一, ㅅ, ㅇ であり、ㄷ, ㅌ, ㅍもパッチムとしては初めて目にするものである。

- ㄱ, 一, ㅅ は、ㄴ, ㅌ, ㅆ のバリエーションとして理解する
- ㅍ は、ㅍ のバリエーションとして理解する。

ㄱ	k	ㄲ	kk
ㄷ	t	ㄸ	tt
ㅍ	p	ㅍㅍ	pp
ㅅ	s	ㅆ	ss
ㅈ	ch	ㅉ	cch

③ㄱ, ㄷ, ㅍ, ㅅは、表では     で表す。

表記することを提示する。

### カナダラ対応表

	a	o		u	i	e		
g/k	가	거	고	구	그	기	개	계
n	나	너	노	누	느	니	내	네
d/t	다	더	도	두	드	디	대	데
r/l	라	러	로	루	르	리	래	레
m	마	머	모	무	므	미	매	메
b/p	바	버	보	부	브	비	배	베
s	사	서	소	수	스	시	새	세
a	아	어	오	우	으	이	애	예
j/ch	자	저	조	주	즈	지	재	제
	차	처	초	추	츠	치	제	체
	카	커	코	쿠	크	키	캐	케
	타	터	토	투	트	티	태	테
	파	퍼	포	푸	프	피	패	페
h	하	허	호	후	흐	히	해	헤

※学習活動1の表は、日本語の名前をハングルで表記することを意図して、日本語の5つの母音だけを提示している。ここ（学習活動3）では韓国語の母音全てを掲載した表にして、韓国語表記の地図も読めるようにしている。